

2026年6月5日

横須賀市長  
上地 克明 殿

(株) グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン  
取締役社長 山崎 肇

2026年6月4日に発生した加工施設（非管理区域）の装置制御盤での発煙について

標記について、度重なる火災の発生により、市民の皆様にも多大なるご心配をおかけしており、改めてお詫び申し上げます。今回の事象について、以下のとおり報告させていただきます。

**1. 事象の概要**

弊社第2加工棟の非管理区域に設置されている小型気中酸化炉の定期点検中に、当該装置の制御盤から発煙を確認しました。そのため、速やかに当該制御盤の電源を遮断し発煙は停止しました。

本発煙について速やかに公設消防へ連絡し、公設消防により本事象は火災と判断され、同時に上記の制御盤電源の遮断により鎮火していると判断されました。当該制御盤は、現在も電源を遮断したまま安全な状態を維持しています。

本事象による従業員等のけが・被ばくはありません。また、施設内外への放射性物質の漏えい等、周辺環境への影響はありませんでした。

本事象につきましては、原子力規制庁などの関係機関へ即時通報しました。

**2. 発生原因**

当該装置の点検の一環として、点検時特有の条件で装置を動作させる作業をしており、この作業要領が適切でなかったためであると考えており、詳細について現在確認中です。

**3. 今後の対応について**

現在、当時の作業状況を含め確認を進めており、今後このようなことが発生しないよう、全社を挙げて、原因調査と再発防止策の策定・実施を進めて参ります。

以上

## <ご参考>

・気中酸化炉は、真空状態で加熱することにより金属表面に皮膜を形成する装置であり、弊社製品の製造工程の一部で用いられている。

・本装置については、年1回、メーカーによる定期点検を実施しており、今回の事象もこの点検中に発生したものである。

・今回の点検では、上記の真空状態を作り出すために必要なポンプの性能を確認する作業が実施されていた。ポンプは大気圧用と高真空用の2つがあり、そのうち高真空用のポンプの動作中に今回事象が発生した。



今回の事象が発生した当該装置(小型気中酸化炉)